

【 1.01<sup>365</sup> 】

新年明けましておめでとうございます。お互い実りのある年にしたいですね。さて高校生活にも終わりが見えてきました。来週から始まる学年末試験が終われば自由登校となり登校する日もわずかとなります。終わりが見えてきた今だからこそ3年間で歩んできた足跡をもう一度振り返ってみましょう。充実した高校生活でしたか？変わることができた3年間でしたか？中には変わっていないかなと感じている人もいるかと思います。確かに、今までの生活習慣を変えていくことは勇気もいるストレスです。いつも通り、現状維持を選択する方が楽ですね。これは君たちだけではなく私もその傾向はあります。毎年当たり前のように新年を迎え、昨年と変わらない一年間を過ごす。これでは成長しないですね。現状維持は後退という言葉もあるように日々バージョンアップが必要なのです。

$$1^{365} = 1$$

$$1.01^{365} = 37.8$$

$$0.99^{365} = 0.03$$

月 日 曜日

この数式は何を表すかという、1は通常の君たちです。**0.01のプラスαの取り組みを365日継続**することで効果は**37.8倍**にもなり、逆に、0.01の小さなサボりを毎日積み重ねてしまうと、**0.03倍**にしかならないという式です。1年後に37.8倍の自分にバージョンアップするか、0.03倍の自分になるかは日々の小さな取り組みの継続で変わるということです。

今年から社会人になる人たち、「社会人になったら勉強しなくていい」なんて思っていないですか？大きな勘違いですよ。高校生とは比にならないくらい勉強をして自分を高めていかななくてはなりません。進学する人達も同様です。大学や専門学校は遊びに行くところではなく、高度な知識や専門的な技術などを学ぶところです。

君たちにとっては**2021年**はスタートの年とも言えます。社会人、学生となり活躍をし、豊かな生活を手にするためには自分自身が変化をしていく**勇気と継続力**が大切です。

## 【飛ぶ鳥跡を濁さず】

この意味は水鳥が飛び立った後の水辺が、濁らずに清いままであることから、立ち去る者は自分のいた場所を綺麗にしていく、引き際は綺麗であるべきということです。2月19日の卒業式に君たちは三河高校から巣立ちます。どのような姿で巣立ってくれるのか。飛び立つ姿は綺麗で清々しくあってほしいですね。

自由登校期間も含め生活面には十分注意をし、後味の悪い最後を迎えないようにしましょう。



## 1月の行事予定 月訓『希望』

1月7日	木	始業式・身だしなみ指導	23日	土	
8日	金	進学クラス学年末試験①	24日	日	
9日	土		25日	月	出校日
10日	日		26日	火	自由登校日
11日	祝	成人の日	27日	水	推薦入試
12日	火	進学クラス学年末試験②	28日	木	自由登校日
13日	水	進学クラス学年末試験③	29日	金	自由登校日
14日	木	学年末試験①・共通テスト激励会	30日	土	受験対策講座
15日	金	学年末試験②	31日	日	
16日	土	大学入学共通テスト			
17日	日	大学入学共通テスト			
18日	月	学年末試験③			
19日	火	学年末試験④			
20日	水	学年末試験⑤			
21日	木	3年生休講			
22日	金	3年生休講			

### ★飛躍の年に際して

新年明けましておめでとうございます。

高校生活も残りわずかとなりました。君たちが新しい社会へ向かっていく準備は着々と進んでいるでしょうか。

東日本大震災から今年の3月11日で10年となります。10年と言えば非常に長い年月です。君たちは7歳か8歳くらいですね。10年前、あまりにもひどい光景をテレビで視聴し、津波が町をのみ込む様子や原子力発電所のメルトダウンに対し、今後日本はどうなってしまうだろうと、本当に不安に感じていました。しかし、今でも多くの傷跡が残っていますが、たくましく復興を遂げつつあります。多くの親類や知人を亡くし、絶望の淵に追いやられていても、そこから助けてくれたのは人と人とのつながりだったと思います。「あの人がいたから10年やってこられた。」「浪江町(福島)の同級生に会うことが1年に1度の楽しみ。」窮地を救ってくれる存在があったからこそ、生きていく理由が見つけれられたのではないのでしょうか。

そして10年後、またもや未曾有の困難が私たちに押し寄せています。目に見えない敵との恐怖におびえた1年間でした。その恐怖を忘れてしまったかのように感染予防を怠り、平気で街に繰り出す若者を目にする機会が増えました。正月の箱根駅伝をテレビで観戦していましたが、テレビに映る沿道の多くの応援者に驚きました。「新型コロナウイルス感染予防のため屋外での応援を控えて下さい」と言うテロップが何度も出ていました。本当に応援したいのであれば、来年以降の開催が危ぶまれるような行為は避けるべきです。憂うべき出来事でした。

今日本の人たちの力量が本当の意味で試されています。就職や進学を通して、社会につながるこの意味を理解し、自分の行動が正しいと判断できる人間になって下さい。

(柳瀬)